

小児がん看護セミナー 実施報告

小児がん看護セミナーの概要

目的	1.小児がん看護に必要な基本的知識・技能を習得し、主体的に実践できる人材を育成する。 2.関東・甲信越ブロックにおける小児がん看護の連携を強化する。
対象	厚生労働大臣の指定する小児がん拠点病院または小児がん診療病院に所属する看護師、あるいは医療・福祉に関する資格(社会福祉士、特別支援学級教諭等の国家資格や臨床心理士等の認定資格)を有していること。
日時	①平成29年9月16日(土) ②平成30年1月20日(土) 10:00~17:00
開催場所	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 講堂
受講者数	①38名 ②26名 計64名

小児がん看護セミナー①（平成29年9月16日開催）

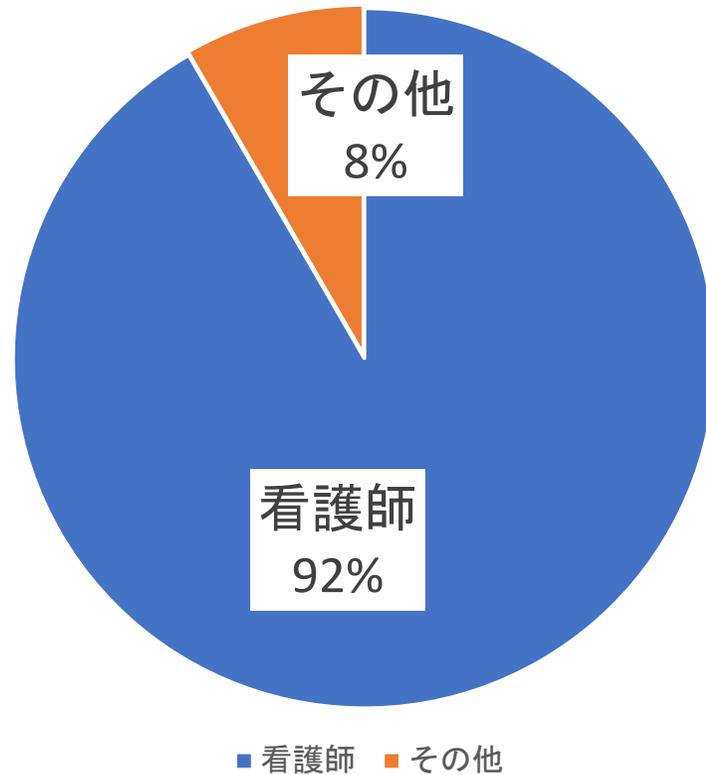
時 間	内 容
10:00～11:00	講義「小児がん対策、疫学、最新の動向」 「小児がんの代表的疾患と治療 概論（血液腫瘍）」 講師：国立成育医療研究センター小児がんセンターセンター長）松本 公一
11:10～12:00	講義「小児がんの代表的疾患と治療 概論（固形腫瘍）」 講師：国立成育医療研究センター小児がんセンター腫瘍外科医長）菱木 知郎
13:00～13:50	講義「小児がん看護 概論」 講師：国立成育医療研究センター 看護師）後藤 清香
14:00～14:50	講義「小児がんにおける化学療法と症状マネジメント」 講師：国立成育医療研究センター がん化学療法看護認定看護師）高橋 彩
15:00～17:00	グループ討議（ワールドカフェ方式）・発表 「化学療法を受ける患者の看護について」

小児がん看護セミナー②（平成30年1月20日開催）

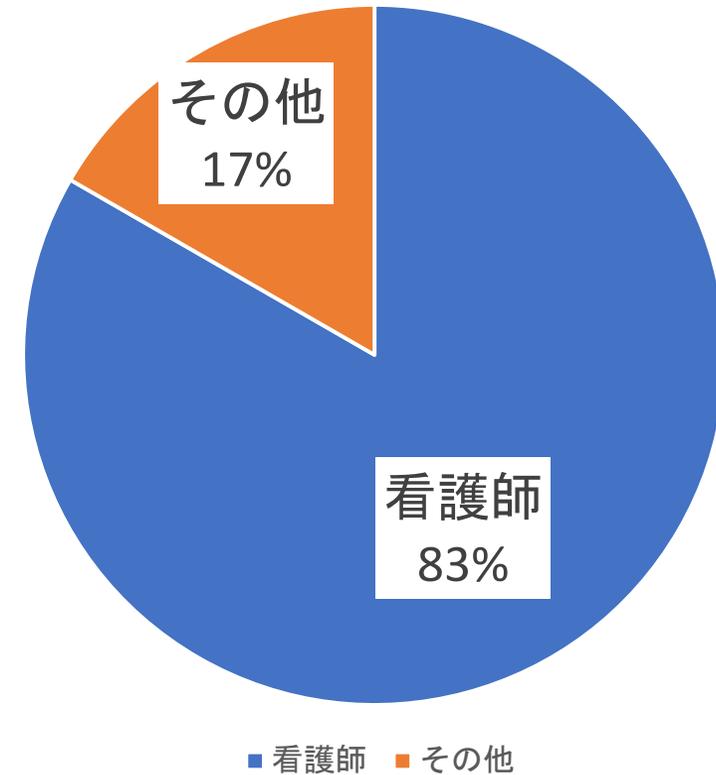
時 間	内 容
10:00～10:30	グループ討議① 自己紹介・終末期看護における現状や困難感について共有
10:30～11:00	講義① 「小児がん患者に対する終末期医療」 国立成育医療研究センター 総合診療部 緩和ケア科 医長) 余谷 暢之
11:00～12:10	グループ討議② 事例をもとに「症状アセスメント・ケア」 講義② 「症状アセスメント・ケアについて」 国立成育医療研究センター 看護部 緩和ケア認定看護師) 木須 彩
13:10～14:15	グループ討議③ 事例をもとに「意思決定支援等の話し合い」ロールプレイ 講義③ 「意思決定支援等の話し合いについて」 国立成育医療研究センター 総合診療部 緩和ケア科 医長) 余谷 暢之
14:15～15:05	グループ討議④ 事例をもとに「本人ときょうだい、家族への支援について」 国立成育医療研究センター 総合診療部 緩和ケア科 医長) 余谷 暢之
15:20～15:50	講義④ 「本人ときょうだいへの支援について」 国立成育医療研究センター チャイルドライフサービス室 CLS)伊藤 麻衣
15:50～16:20	講義⑤ 「家族支援について」 国立成育医療研究センター こころの診療部 心理士) 引土 達雄
16:20～16:40	講義⑥ 「小児がん患者のリハビリテーション」 国立成育医療研究センター リハビリテーション科 作業療法主任) 深澤 聡子

受講者の属性

小児がん看護セミナー①

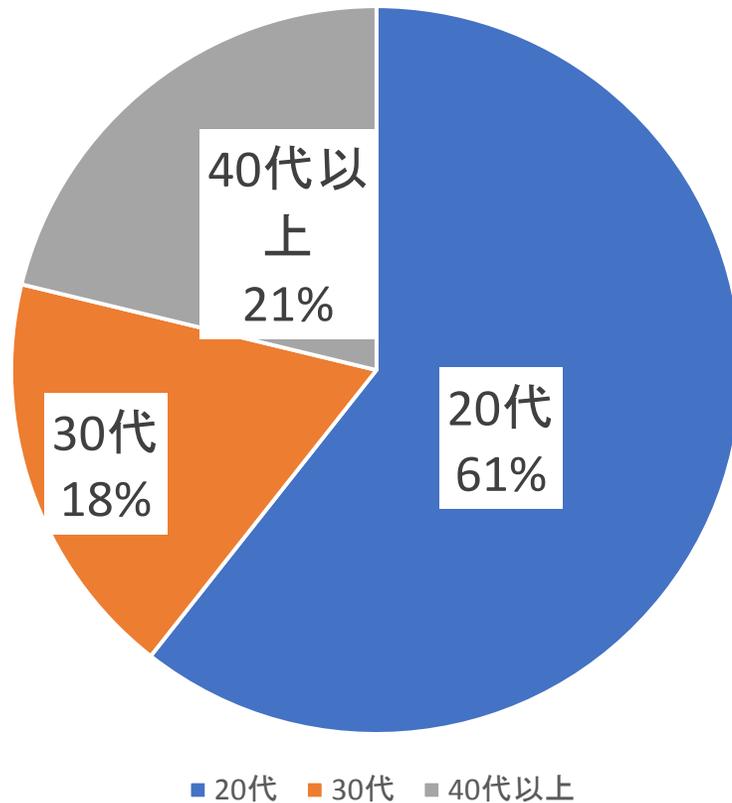


小児がん看護セミナー②

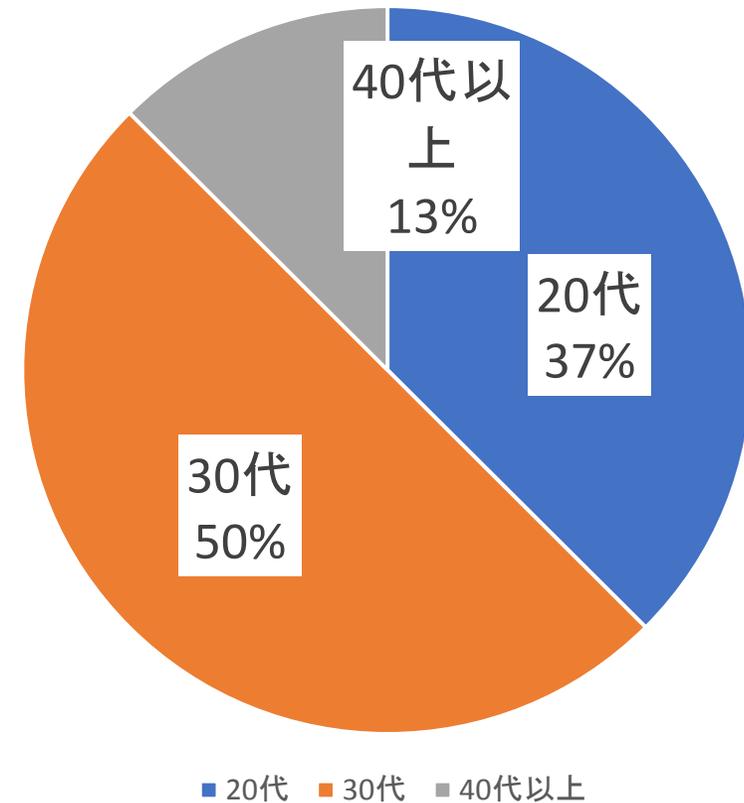


受講者の年齢層

小児がん看護セミナー①

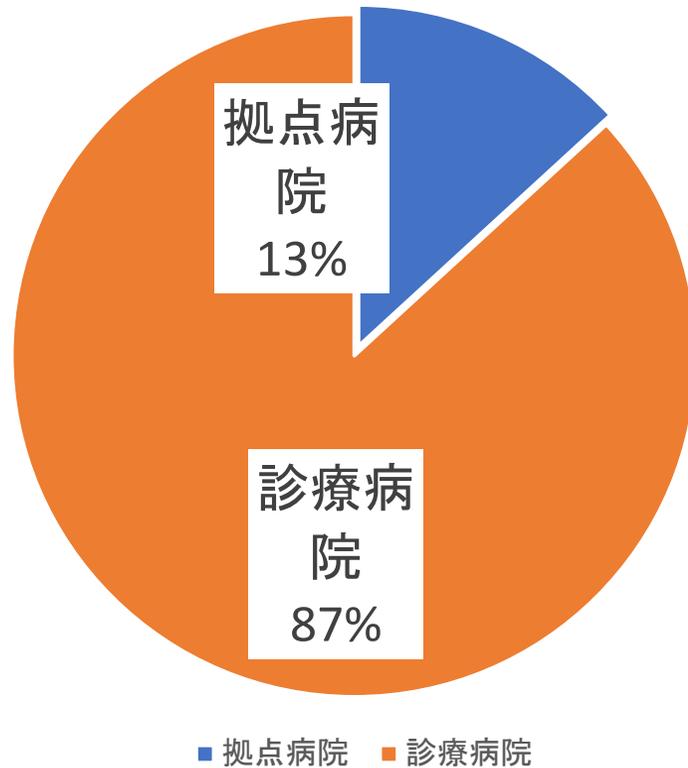


小児がん看護セミナー②

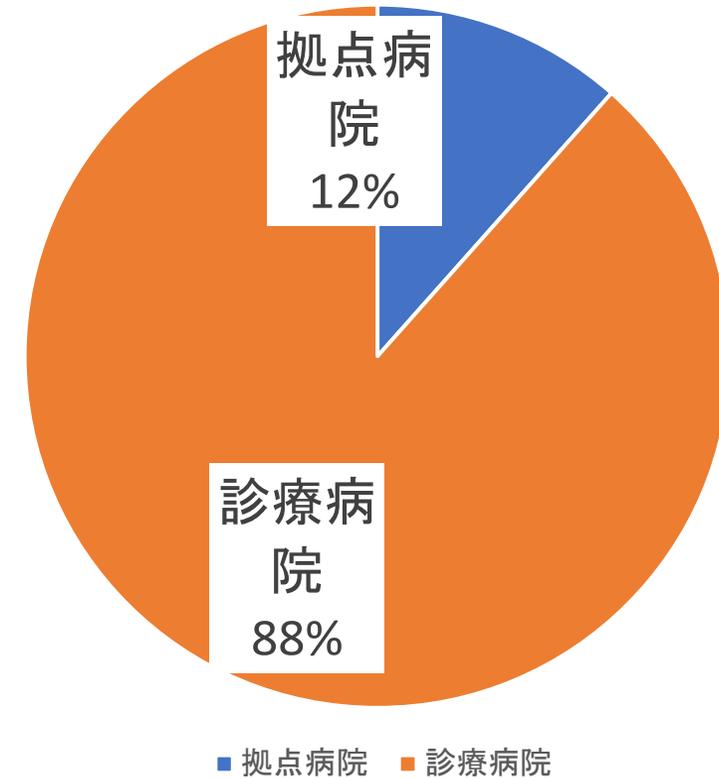


受講者の所属施設

小児がん看護セミナー①



小児がん看護セミナー②



講義の評価（小児がん看護セミナー①）

講義1

「小児がん対策、疫学、最新の動向」

講義2

「小児がんの代表的疾患と治療 概論（血液腫瘍）」

講義3

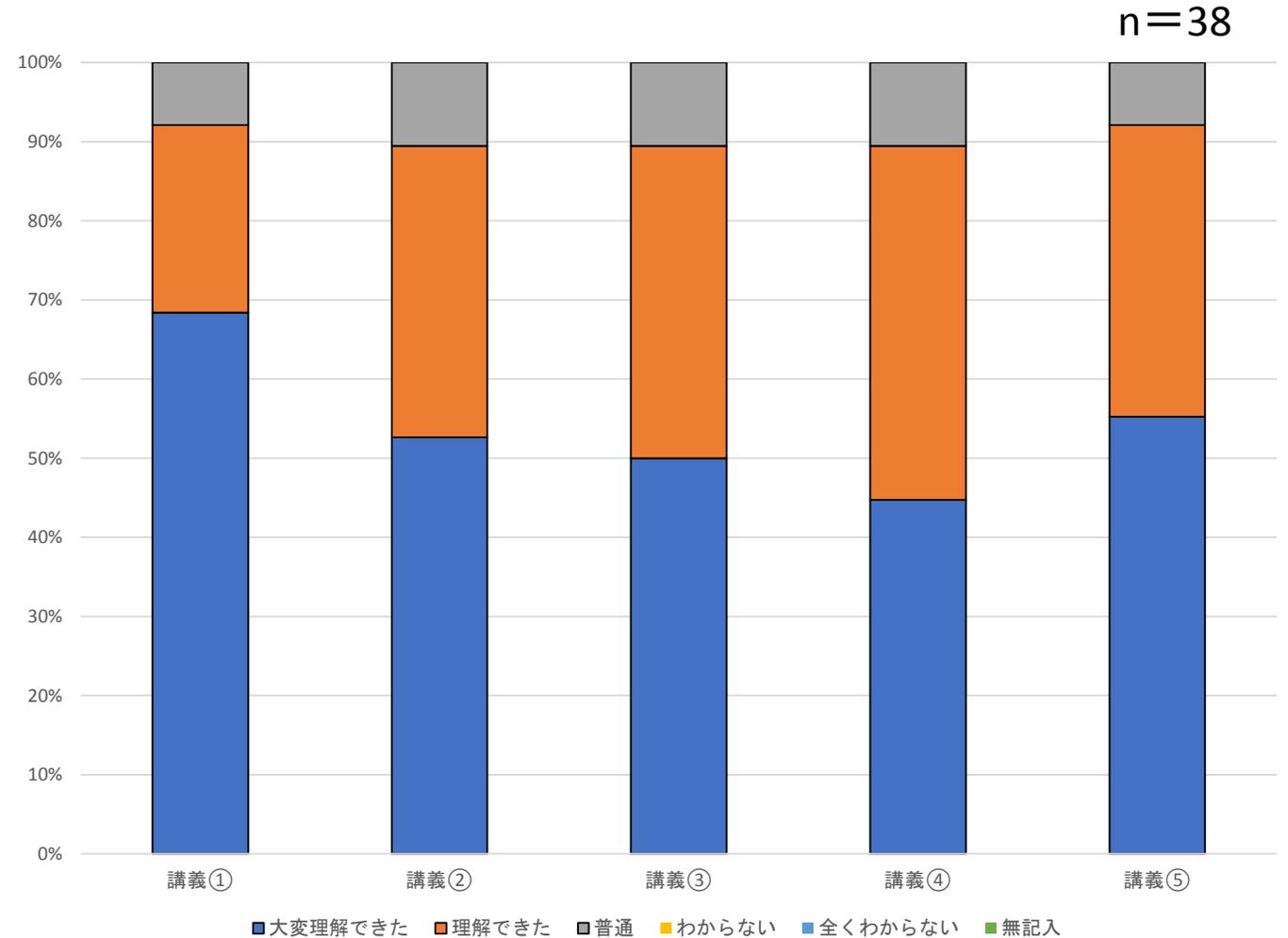
「小児がんの代表的疾患と治療 概論（固形腫瘍）」

講義4

「小児がん看護 概論」

講義5

「小児がんの化学療法と症状マネジメント」



講義の評価（小児がん看護セミナー②）

n=26

講義①

「小児がん看護に対する終末期医療」

グループ討議①

「各施設での現状や困難事例の共有」

グループ討議②

「症例アセスメント・ケア」

グループ討議③

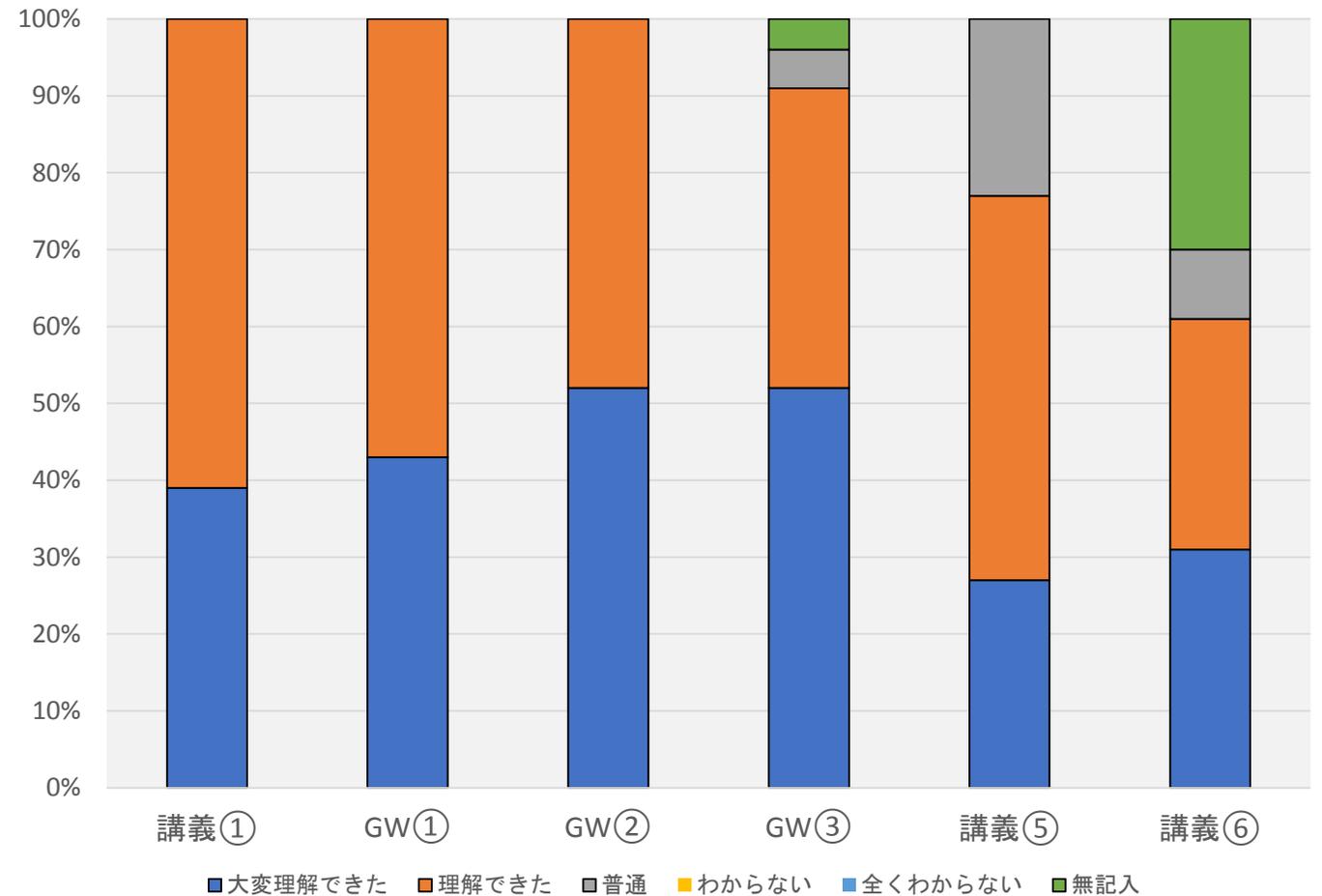
「意思決定支援の話し合いについて」

講義⑤

「家族支援について」

講義⑥

「小児がん患者のリハビリテーション」



評価

- 受講者は、小児がん看護セミナー①38名、②26名であった。
この人数の差については、小児がん看護セミナー②で実施したグループ討議が影響していると考えている。グループ討議があることで、「経験がないと参加できないのではないか」と参加を踏みとどまったと評価した。次年度の講義の内容、研修形式について再度、検討していく。
- 講義のテーマについては、他の3拠点病院（埼玉県立小児医療センター、東京都立小児総合医療センター、神奈川県立こども医療センター）の実施している講義のテーマと重複していないかを施設間で情報共有しながら次年度の講義テーマを検討していく。